

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（単施設の研究用）

西暦 2018年 8月 31日作成

研究課題名	外来化学療法における薬薬連携情報共有シートによる薬局から病院への情報提供内容の後方視的調査
研究の対象	2017年1月1日から2018年5月31日の間に、当院で化学療法を施行され地域薬局から情報共有シートで情報が病院に送付された患者さん
研究目的 ・方法	薬薬連携は、「地域薬局薬剤師と病院薬剤師が患者の薬剤に関する副作用、使用状況などの連絡を取り合い情報を共有し、入院外来を問わず薬物療法が安全に行われるようサポートする体制」のことを示します。増加・多様化する外来化学療法の質や安全性を薬剤師が担保していくためには地域薬局薬剤師と病院薬剤師が、協力して薬物療法に関わることが求められています。当院では外来化学療法室で治療を受けられた患者さんに化学療法の内容が記載されたお薬手帳用シールをお渡しし、薬局を含む他の医療機関で化学療法の内容が確認できるようにしています。また薬剤部のホームページからの薬局向けのレジメン情報や患者さん用説明書の公開し薬局での処方チェック、説明時に役立てています。さらに院外処方せんへの臨床検査値を記載し、薬局で適正な投与量のチェックを可能としています。これらの多くの情報をお薬手帳、処方せんを介して地域薬局に提供しています。地域薬局からは当院薬剤部に対して、必要に応じて情報共有シートをFAXすることで副作用や服薬状況について情報提供していただき、当院薬剤師が医師にフィードバックしています。これらの連携体制の有効性の評価を目的としています。
研究期間	西暦 2018年 10月 15日（承認日）～西暦 2020年 3月 31日
研究に用いる 試料・情報 の種類	電子カルテから患者さんの年齢、性別、がん種、使用された抗がん剤の組み合わせの種類についての情報を収集します。また地域薬局から寄せられた患者さんの副作用や薬の服薬状況についての情報も収集・解析します。
本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。	

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（単施設の研究用）

問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒232-0024 (所在地) 横浜市南区浦舟町 4-57

(所属機関) 横浜市立大学附属市民総合医療センター 薬剤部 (研究責任者) 徳丸 隼平

電話番号：045-261-5656 (内線：2424) FAX：045-253-5343